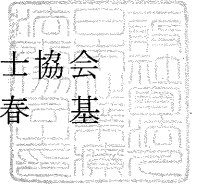


平成 26 年 3 月 3 日

厚生労働省 医政局 医事課
試験免許室長 岡田 安正 様

一般社団法人 日本作業療法士協会
会 長 中 村 春 基



第49回作業療法士国家試験問題について（意見）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会の活動にご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、2月23日に実施されました第49回作業療法士国家試験問題につきまして全国の作業療法士学校養成施設に問題の妥当性についてアンケート調査を実施しましたところ、「適切でないと思われる」とする回答がありましたので、それらの回答について次の3つの方針に基づいて検討を行いました。

- (1) 全国の作業療法士学校養成施設から寄せられた「国家試験として適切でないと思われる問題」のみを検討の対象とすること。
- (2) 当協会担当部署においてさらに検討を重ね、「国家試験として適切でないと思われる問題」に限定して意見を具申すること。
- (3) 国家試験問題の範囲や難易度についての意見を具申するものではないこと。

その結果、設問内容の適切さ及び出題形式（図や設問の説明）について下記の意見を述べさせていただきます。また、特に検討していただきたい5つの問題（午前3問題、午後2問題）につきましては、別紙に内容を記載し、併せて具体的な理由を付記いたしました。

ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

謹 白

記

I 複数の解が選択できると思われる4問題（午前10、66・午後37、61）について、複数の選択肢を正解とすることが望ましいと考える。また、提示された選択肢からは解を選択する判断ができないと思われる1問題（午前36）について、採点から除外することが望ましいと考える（別添資料参照）。

II その他の意見

用語や設問の表現等が不適切であり選択肢の理解に戸惑う要因となっている5問題（午前16、19、53・午後11、90）、消去法や優先順位等から解は選べるものの該当すると言い切れない1問題（午前22）、消去法や優先順位等から解は選べるものの他の選択肢も該当する可能性がある4問題（午前56・午後43、48、52）があると考えます。

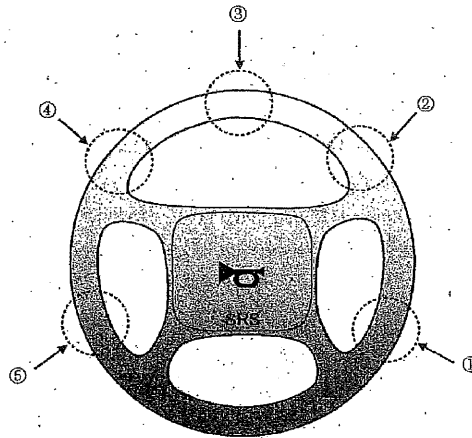
午前 問題

問題番号 (10)

次の文により9、10の問に答えよ。

25歳の男性。転落による頸髄損傷。受傷後2年経過。筋力はMMTで、三角筋4、大胸筋鎖骨部2、上腕二頭筋5、上腕三頭筋0、回内筋0、腕橈骨筋4、長橈側手根伸筋3、橈側手根屈筋0、手指屈筋0で左右差はない。

10 旋回装置を右ハンドル乗用車のハンドルに取り付ける位置として正しいのはどれか。



1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

解：1、2（複数の解が選択できる）

理由

文献1、2より、問題図の①の位置が示され、文献3より問題図の②の位置が示されている。

したがって、選択肢「1」と「2」の複数の解が選択できる。

参考とする文献

1. 長崎重信 監修・編集：作業療法学 ゴールドマスターテキスト4 身体障害作業療法学. メジカルビュー社, p126, 2010.
2. 二瓶隆一 他 編著：頸髄損傷のリハビリテーション改訂第2版. 協同医書出版, p274, 2006.
3. 初山泰弘 他 編集：リハビリテーション医学講座第12巻 脊髄損傷 包括的リハビリテーション. 医歯薬出版, p252, 1996.

午前 問題

問題番号 (66)

66 ヒトの免疫機構で正しいのはどれか。

1. B細胞は抗体を産生する。
2. 好中球はサイトカインを産生する。
3. キラーT細胞は他の免疫細胞を破壊する。
4. ヘルパーT細胞は免疫反応の抑制に働く。
5. 副腎皮質ホルモンは免疫機能を亢進させる。

解：1、2（複数の解が選択できる）

理由

文献1より、B細胞が抗体を産生するとの記載があるため、選択肢「1」は正しい。

文献2、3、4より、好中球はサイトカインである血小板活性化因子を産生する。さらに文献3、4より、好中球はサイトカインであるIL-1、文献5よりIL-8を産生するとの記載があるため、選択肢「2」は正しい。

したがって、選択肢「1」と「2」の複数の解が選択できる。

参考とする文献

1. 岡田隆夫、長岡正範：標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第4版. 医学書院, p89, 2013.
2. 市岡正道 他 監訳：医科生理学展望 原書16版. 丸善, p520, 1994.
3. 澤井高志、内藤眞 他：第5版 エッセンシャル病理学. 医歯薬出版, p67, 2000.
4. 町並陸生 監修：標準病理学 第2版. 医学書院, pp37-38, 2002.
5. 黒川清、松澤佑次 編集：内科学 5分冊版[Ⅲ]. 文光堂, p1267, 2000.

午後 問題

問題番号 (37)

37 研究法の説明で誤っているのはどれか。

1. 記述的研究は、質的研究である。
2. 横断研究では、症例の経過を追って情報収集する。
3. 後ろ向き調査とは、過去に遡って情報収集する調査である。
4. メタアナリシスは、多数の研究を数量的に合成し統合して検討する。
5. 留め置き調査法では、対象者に配布した調査票を調査員が回収する。

解：1、2（複数の解が選択できる）

理由

文献1、2より、「記述的研究」は量的研究に分類されている。さらに文献3より、記述的研究のデータとしては量的・質的のどちらもありうることから選択肢「1」は誤っていると判断できる。

文献4より、横断研究はいくつかの対象者に対して、同一時点で同一方法を用いてデータ収集する断面的な研究法とあり、選択肢「2」は誤っていると判断できる。

したがって、選択肢「1」と「2」の複数の解が選択できる。

参考とする文献

1. 鎌倉矩子、宮前珠子、清水一：作業療法士のための研究法入門. 三輪書店, p31, 1997.
2. 山田孝 編集：標準作業療法学 専門分野 作業療法研究法. 医学書院, p171, 2005.
3. 朝倉隆司 監訳、Bailey DM：保健・医療のための研究法入門. 協同医書出版, p51, 2002.
4. 奈良勲 監修、内山靖 編集：理学療法学事典. 医学書院, p96, 2006.

午後 問題

問題番号 (61)

61 皮膚感覚と受容器の組合せで正しいのはどれか。

1. 痛 覚-----自由神経終末
2. 温 覚-----Pacini (パチニ)小体
3. 冷 覚-----Meissner (マイスネル)小体
4. 触 覚-----Krause (クラウゼ)小体
5. 圧 覚-----Ruffini (ルフィニ)終末

解：1、4、5 (複数の解が選択できる)

理由

文献1、2、3より、自由神経終末は痛覚の受容器、Krause (クラウゼ)小体は触覚の受容器、Ruffini (ルフィニ)終末は触圧覚の受容器、と記載されている。

第41回作業療法士国家試験の共通問題26に同様の問題が出題されており、厚生労働省の正答値表も複数肢を正解としている。

したがって、選択肢「1」と「4」と「5」の複数の解が選択できる。

参考とする文献

1. 石澤光郎：標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第3版. 医学書院, pp183-184, 2008.
2. 奈良勲、富永淳：標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第3版. 医学書院, pp87-88, 2007.
3. 浦野哲盟：人体生理学. 朝倉書店, p46, 2008.

午前 問題

問題番号 (36)

36 Parkinson病患者的の肩関節可動域拡大を目的とした作業活動として正しいのはどれか。

1. 折り紙
2. 木彫の浮彫り
3. ろくろで茶碗作り
4. 革細工のレースかがり
5. タイルモザイクのタイル割り

解：解なし

理由

文献1、2、3より、Parkinson病患者的の関節可動域拡大を目的とした作業活動を提供する場合には粗大運動で体幹の回旋を含み、かつ長時間同じ姿勢をとり続けないように行うとされている。このことから、選択肢「1」と「2」は除外できる。

文献4より、選択肢「3」は手指巧緻性や上肢協調性、選択肢「4」は応用的能力と目と手の協調性の改善、選択肢「5」は一般的にタイルニッパーを用いて手指把握力、上肢筋力向上を目的として行われている。

したがって、適切な解答が選択できないため、解なしとする。

参考とする文献

1. 日本作業療法士協会 監修：作業治療学1 身体障害 改訂第3版. 協同医書出版, pp210-220. 2008.
2. 石川斎、古川宏 編：図解作業療法実践ガイド. 文光堂, pp423-424, 1999.
3. 長崎重信 監修・編集：作業療法学 ゴールドマスターテキスト4 身体障害作業療法学. メジカルビュー社, p357, 2010.
4. 日本作業療法士協会 編集：作業-その治療的応用 改訂第2版. 協同医書出版, p19, p36, pp53-61, 2003.